

第9回会議 論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P4 P5	重点テーマ	全体	—	重点施策は、4年後をターゲットにして考えるのか、12年間を通して考えるのか。	(事務局) 基本計画は12年間の計画で、4年ごとに見直しを行うこととしていることから、基本計画に位置づける重点テーマについても、12年間で4年ごとに見直しを行うことになる。 4年後に見直しを行った際に、新たに重点施策を追加することも考えられるし、このまま継続されることも考えられる。
2	P4 P5	重点テーマ	全体	—	北海道新幹線の旭川延伸に関する記述がないが、長期的な計画の中のどこかに記載する必要があるのではないかと。 札幌まで延伸されてから、旭川延伸を求めるのでは遅いのではないかと。	(事務局) 基本計画においては、新幹線の旭川延伸という言葉を用いていないが、「公共交通を軸とした利便性の高い交通体系の充実」や「交通結節機能の強化」に向けた取組の一つとして検討を進めていくことになる
3	P4	重点テーマ	(1) 重点テーマ設定の視点	—	「少子高齢化・人口減少」、「地域経済の低迷」、「厳しい財政状況」の3つの課題に応じた重点テーマを設定すべきではないかと。 「人口減少」だけを課題とすると、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と重複するのではないかと。	(事務局) 検討組織からの提言や市民意見においても、「人口減少・少子高齢化」が共通の課題として取り上げられており、重点テーマについても同じ課題認識のもと設定した。 「人口減少・少子高齢化」といった課題は、経済面や財政面に横串的に関連する課題である。 今回の重点テーマは、「人口減少・少子高齢化」を課題としながら、「こども」、「しごと」、「地域」に視点を当て、地域経済の活性化や安心して暮らせる地域づくりに重点的に取り組んでいくというものである。
4	P4	重点テーマ	(1) 重点テーマ設定の視点	—	経済の活性化を図れば、子育てがしやすい環境になるが、厳しい財政状況への対応といった視点が足りないように感じる。 人口減少対策だけではなく、厳しい財政状況も設定の視点に加えるべきではないかと。	(会長) 産業の活性化や雇用の創出は、財政の健全化にも関わりが大きい。「少子高齢化・人口減少」を切り口としながら、財政の健全化という視点も関連しているのではないかと。
5						
6						
7						資料2